

日本呼吸器学会認定施設における SAS 診療の現状

アンケート調査から

日本呼吸器学会，睡眠時無呼吸症候群に関する検討委員会

赤柴 恒人¹⁾ 巽 浩一郎²⁾ 陳 和夫³⁾ 木村 弘⁴⁾
 西村 正治⁵⁾ 飛田 渉⁶⁾ 福原 俊一⁷⁾ 藤本 圭作⁸⁾
 三嶋 理晃⁹⁾ 堀江 孝至¹⁾ (委員長)

はじめに

昨年の2月に起こった山陽新幹線運転手の居眠り事件が大きく報道され，その運転手が閉塞型睡眠時無呼吸低呼吸症候群 (OSAHS) であったことから，OSAHS に対する関心が高まり，大きな社会的問題となったのは記憶に新しいところである．OSAHS は，呼吸器科，循環器科，精神科，耳鼻咽喉科，歯科などの領域にまたがる学際的疾患であるが，その中心は呼吸器科領域であるのは疑いがない．そこで，日本呼吸器学会として，現在の睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 診療の現況を把握するため，日本呼吸器学会認定施設に SAS 診療に関するアンケート調査を行った．

対象と方法

2003年9月までに日本呼吸器学会に認定された認定施設449施設に表1に示すアンケート用紙を送付した．アンケートの内容はSAS関連対策委員会のメンバーが作成した．

結 果

アンケートを送付した449施設中349施設 (69.9%) から回答が得られた．表2にその回答内訳を示すが，鹿児島を除く全ての都道府県施設から回答が得られた．表3にアンケート結果を示す．SAS診療は約80%の施設で行われていたが，SAS診断のGold standardである終夜睡眠検査 (Polysomnography; PSG) が可能な施設は197施設 (56%) にとどまった．しかし，その施設の1年間の平均PSG数は113例であり，最大では1,300例であった．簡易睡眠モニターは73%の施設で使われており，施行例数の平均は年間95例であった．PSG専用のベッドを有していた施設はわずか24%で，睡眠医療専門職がいる施設は35%であった．Nasal CPAP治療は84%の施設で行われており，年間症例数の最大は540例であった．Epworth Sleepiness Scale (ESS) に関しては，66%の施設が知っており，うち70%の施設で日本語訳が使用されていた．

質問の14と15は，昨年の事件に関連した質問であったが，直接的に患者の雇用者から自動車運転の可否を問われていたのは20%であった．しかし，それに対するマニュアルが整備されていた施設はわずか8%であった．

¹⁾ 日本大学医学部呼吸器内科

²⁾ 千葉大学大学院医学研究院加齢呼吸器病態制御学

³⁾ 京都大学医学部附属病院理学療法部

⁴⁾ 奈良県立医科大学内科学第二講座

⁵⁾ 北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学

⁶⁾ 東北大学保健管理センター・同大学院健康情報学講座

⁷⁾ 京都大学大学院医学研究科医療疫学

⁸⁾ 信州大学医学部内科学第一講座

⁹⁾ 京都大学大学院医学研究科

表1 SAS (睡眠時無呼吸症候群) 診療に関するアンケート

1. SASの診療を行っていますか? (1. はい. 2. いいえ.)

2. 行っているとしたら受診患者数はどの程度ですか? (約 例/年)

3. 夜間睡眠検査 (PSG) は可能ですか? (1. 可能 2. 不可能)

4. 可能であれば, その概数は? (約 例/年)

5. 簡易睡眠モニターは可能ですか? (1. 可能 2. 不可能)

6. 可能なら, その概数は? (約 例/年)

7. 専用の PSG 用ベッドを持っていますか? (1. 持っている 2. 持っていない)

8. 持っているならその数は? (床)

9. 睡眠診療の専門医, 技師はいますか? (1. はい. 2. いいえ.)

10. nasal CPAP 治療は行っていますか? (1. はい. 2. いいえ.)

11. 行っていたらその概数は? (約 例/年)

12. Epworth Sleepiness Scale (ESS) 御存じですか? (1. はい. 2. いいえ.)

13. ESS の日本語訳使用していますか? (1. はい. 2. いいえ.)

14. SAS で眠気が疑われる患者さんやその雇用者から, 運転の可否を問われる診断書を請求されたことがありますか? (1. はい. 2. いいえ.)

15. 上記の診断書について, どういう対応をするべきか一定の protocols を持っていますか? (1. はい. 2. いいえ.)

16. その他, お気づきのことがあればお書きください。

17. 貴施設名を公開することに (1. 諾 2. 否)

御協力有り難うございました。

貴施設名 住所
電話番号 Fax
御回答者名

日本呼吸器学会 SAS 対策関連委員長
日本大学内科学講座内科一教授
堀江 孝至

表2 回答施設の内訳

総数	349 例
19	北海道
29	東北
	青森 (3), 岩手 (3), 秋田 (5), 山形 (4), 宮城 (8), 福島 (6)
118	関東・甲信越
	茨城 (7), 栃木 (8), 群馬 (8), 埼玉 (8)
	千葉 (12), 東京 (42), 神奈川 (18), 山梨 (2)
	長野 (4), 新潟 (9)
53	東海・北陸
	富山 (2), 石川 (3), 福井 (3)
	岐阜 (7), 静岡 (12), 愛知 (25), 三重 (1)
49	近畿
	滋賀 (4), 京都 (7), 大阪 (20), 兵庫 (11), 奈良 (4), 和歌山 (3)
42	中国・四国
	鳥取 (3), 島根 (1), 岡山 (9), 広島 (9), 山口 (5)
	徳島 (1), 香川 (4), 愛媛 (8), 高知 (2)
39	九州・沖縄
	福岡 (12), 佐賀 (3), 長崎 (10), 熊本 (9), 大分 (1), 宮崎 (2), 鹿児島 (0) 沖縄 (2)

表3 SAS(睡眠時無呼吸症候群)診療アンケートに対する回答のまとめ

アンケート送付施設：449 施設		回答総数：349 施設 (69.9%)	
質問1	SASの診療を行っていますか？	はい 275 79%	いいえ 72 21% , 無回答 2
質問2	行っているとしたら一年あたり受診患者数はどの程度ですか？	平均：105例, 最小：1例, 最大：2500例	無回答 13例
質問3	終夜PSG検査は可能ですか？	はい 197 56%	いいえ 150 43% , 無回答 2
質問4	可能であれば、その一年あたりのPSG数は？	平均：113例, 最小：1例, 最大：1300例	無回答 8例
質問5	簡易睡眠モニタは使用できますか？	はい 254 73%	いいえ 93 27% , 無回答 2
質問6	可能であれば、その一年あたりの概数は？	平均：95例, 最小：1例, 最大：1000例	無回答 12
質問7	専用のPSGベッドはお持ちですか？	はい 85 24%	いいえ 261 75% , 無回答 3
質問8	あれば、そのベッド数は？	平均：1.7, 最小：1, 最大：7	無回答 0
質問9	睡眠診療に対するの専門資格を有する医師や技師はいますか？	はい 122 35%	いいえ 223 64% , 無回答 4
質問10	Nasal CPAP治療は行っていますか？	はい 292 84%	いいえ 55 16% , 無回答 2
質問11	行っていればその一年あたりの概数は？	平均：37例, 最小：1例, 最大：540例	無回答 4
質問12	Epworth sleepiness scale (ESS)をご存知ですか？	はい 231 66%	いいえ 116 33% , 無回答 2
質問13	ESS(日本語訳)を使用していますか？	はい 162 70%	いいえ 68 29%
質問14	SASで眠気が疑われる患者さんやその雇用者から、運転の可否を問われる診断書を請求されたことがありますか？	はい 69 20%	いいえ 278 80% , 無回答 2
質問15	請求されたと仮定し、どのような対応をとるか一定の手順がさだめられていますか？	はい 27 8%	いいえ 319 92% , 無回答 3
質問16	その他、お気づきのことがあればお書きください。		
質問17	貴施設名を公開してもよろしいですか？	はい 266 76%	いいえ 79 22% , 無回答 4